



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月2日

上場会社名 アイコム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6820 URL http://www.icom.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 植畑 敬一 TEL 06-6793-5301
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	5,678	1.0	163	△19.0	358	708.6	219	—
25年3月期第1四半期	5,619	4.1	201	17.3	44	△79.3	11	△90.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 226百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △343百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	14.84	—
25年3月期第1四半期	0.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	54,343	49,035	90.2
25年3月期	54,866	49,105	89.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 49,035百万円 25年3月期 49,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,790	14.9	950	217.3	1,070	309.3	710	370.5	47.91
通期	26,440	2.3	2,240	2.9	2,410	△23.7	1,910	△14.3	128.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	14,850,000株	25年3月期	14,850,000株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	31,583株	25年3月期	31,583株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	14,818,417株	25年3月期1Q	14,818,472株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期の連結累計期間は、国内では、積極的な財政政策や円安の追い風を受けて景況感は底堅く推移しており、個人消費や住宅投資に回復がみられましたが、輸入価格やエネルギー調達費の上昇によるコスト増が懸念されました。

一方海外では、米国景気は底堅いものの足元では財政引き締めの影響が強まっており、欧州圏は債務問題や緊縮財政の影響から景気の減速が続きました。また、中国をはじめとする新興国でも成長のペースに陰りがみえています。

このような状況のなか、当企業集団は、アジアを中心とする新興市場の開拓やデジタル化の進む陸上業務用無線通信機器市場への対応を推進しました。また、アマチュア用無線通信機器が新製品効果もあり堅調に推移し、為替レートが円安で推移したことにより増収となりましたが、国内での復興需要の後退による減収要因もあり前年同期比では売上高は微増にとどまりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は56億7千8百万円と、前年同期に比べ5千8百万円(1.0%増)の増収となりました。一方、積極的な営業展開及び研究開発投資等を実施し販売費及び一般管理費が前年同期に比べ12.0%増加したことから営業利益は1億6千3百万円と、前年同期に比べ3千8百万円(19.0%減)の減益となりましたが、為替差益を1億2千7百万円計上したことにより経常利益は3億5千8百万円と、前年同期に比べ3億1千4百万円(708.6%増)の増益、四半期純利益も2億1千9百万円と、前年同期に比べ2億8百万円(1,800.2%増)の増益となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

① 日本[当社、和歌山アイコム(株)、アイコム情報機器(株)]

海外市場向けでは為替レートが円安に推移したことにより欧州及びアジア市場向けが増収となりましたが、国内市場向けは、アマチュア用無線通信機器が新製品効果もあり好調に推移したものの、前年同期のような復興需要が後退し陸上業務用無線通信機器及びそれにとまうオプション類が減収となったため、外部顧客に対する売上高は32億2千3百万円(前年同期比1.6%減)となりました。円安の影響により売上総利益は14.1%増益となり、販売費及び一般管理費が9.6%増加しましたが営業利益は2億4千9百万円(前年同期比56.1%増)となりました。

② 北米[Icom America, Inc.、ICOM CANADA HOLDINGS INC.、ICOM DO BRASIL RADIOCOMUNICACAO LTDA.]

財政引き締めの影響等から陸上業務用無線通信機器は減収となりましたが、アマチュア用無線通信機器が新製品効果もあり大きく増収となったほか円安の影響により円換算での外部顧客に対する売上高は18億6千1百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

利益面では円換算ベースでの販売費及び一般管理費の増加により営業利益は8百万円(前年同期比89.3%減)となりました。

③ ヨーロッパ[Icom (Europe) GmbH、Icom Spain, S.L.]

市況の低迷から陸上業務用無線通信機器は減収となりましたが、新製品効果もありアマチュア用無線通信機器が堅調に推移したほか円安の影響により円換算での外部顧客に対する売上高は2億2千3百万円(前年同期比18.7%増)となりました。

利益面では円換算ベースでの販売費及び一般管理費の増加により1千8百万円の営業損失(前年同期は1千2百万円の営業損失)となりました。

④ アジア・オセアニア[Icom (Australia) Pty.,Ltd.、Asia Icom Inc.]

主力市場となるオーストラリアでは、これまで景気を牽引していた鉱業部門に陰りが見られ、陸上業務用デジタル無線通信機器は順調に推移したものの、他のカテゴリーが減収となったため全体としての豪ドルベースの出荷は減収となりましたが、円安の影響により円換算では外部顧客に対する売上高は3億7千万円(前年同期比4.6%増)となりました。

利益面では、円換算ベースでの販売費及び一般管理費の増加により営業利益は6百万円(前年同期比83.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は前連結会計年度比5億2千2百万円減少し、543億4千3百万円となりました。

主な内訳は、現金及び預金の増加34億1千2百万円及びたな卸資産（合計）の増加2億8千万円等の増加要因と、受取手形及び売掛金の減少38億2千4百万円及び流動資産のその他の減少3億8千5百万円等の減少要因によるものです。

なお、流動資産のその他の減少3億8千5百万円の主な内訳は、貿易保険に関する未収入金の減少3億9千9百万円等の減少要因によるものであります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度比4億5千2百万円減少し、53億8百万円となりました。

主な内訳は、賞与引当金の増加2億5千8百万円等の増加要因と、未払法人税等の減少7億7千5百万円等の減少要因によるものであります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度比6千9百万円減少し、490億3千5百万円となりました。

主な内訳は、当期純利益による増加2億1千9百万円等の増加要因と、剰余金の配当による減少2億9千6百万円等の減少要因によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は89.5%から90.2%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間並びに通期の見通しにつきましては、おおむね想定範囲内で推移しており、現時点では平成25年5月17日公表の業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,046	29,458
受取手形及び売掛金	6,893	3,068
商品及び製品	3,303	3,236
仕掛品	80	96
原材料及び貯蔵品	2,454	2,785
その他	2,925	2,539
貸倒引当金	△27	△22
流動資産合計	41,676	41,164
固定資産		
有形固定資産	7,664	7,605
無形固定資産	138	115
投資その他の資産		
その他	5,480	5,547
貸倒引当金	△93	△89
投資その他の資産合計	5,386	5,457
固定資産合計	13,189	13,179
資産合計	54,866	54,343
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,075	1,231
未払法人税等	911	135
賞与引当金	450	708
製品保証引当金	47	47
その他	1,735	1,620
流動負債合計	4,221	3,744
固定負債		
退職給付引当金	876	899
その他	663	664
固定負債合計	1,539	1,563
負債合計	5,761	5,308

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,081	7,081
資本剰余金	10,449	10,449
利益剰余金	31,641	31,564
自己株式	△102	△102
株主資本合計	49,068	48,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△48	△58
為替換算調整勘定	84	101
その他の包括利益累計額合計	36	43
純資産合計	49,105	49,035
負債純資産合計	54,866	54,343

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,619	5,678
売上原価	3,393	3,248
売上総利益	2,226	2,430
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	1	—
給料及び手当	463	507
賞与引当金繰入額	74	91
退職給付引当金繰入額	32	28
試験研究費	669	806
その他	784	833
販売費及び一般管理費	2,025	2,267
営業利益	201	163
営業外収益		
受取利息	57	59
受取配当金	7	4
投資有価証券売却益	—	6
為替差益	—	127
補助金収入	—	6
その他	22	58
営業外収益合計	86	262
営業外費用		
売上割引	39	41
為替差損	194	—
その他	9	25
営業外費用合計	243	67
経常利益	44	358
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	46	358
法人税等	35	138
少数株主損益調整前四半期純利益	11	219
四半期純利益	11	219

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11	219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	△9
為替換算調整勘定	△318	16
その他の包括利益合計	△355	6
四半期包括利益	△343	226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△343	226

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。